埼玉県森林づくり協定を締結しました！

▲ 左から、株式会社秀拓 代表取締役 米原 様、大野知事、新井町長

埼玉県森林づくり協定締結式

令和７年２月17日（月）に埼玉県庁において埼玉県森林づくり協定の締結を行いました。

今後、黒山展望台前の私有林と町有林を合わせた約1haで、川越市で不動産業を営んでいる「株式会社秀拓」が、植栽等の森林づくり活動を実施していきます。

実施期間は、令和７年３月10日から令和12年３月31日までの５年間です。

※埼玉県森林づくり協定とは・・・

埼玉県が仲介し、森林整備等の社会貢献活動を実施したい企業と、森林の提供ができる森林所有者を繋ぐ事業です。

森林づくり活動にかける思い

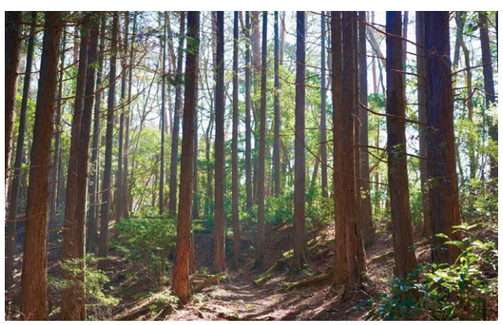
森林資源は埼玉県の大切な財産です。人々の健康意識の高まりとともにハイキングを楽しむ人が増え、越生町～横瀬町のハイキングルートにも多くの人が訪れるようになりました。一方で、放置され荒れたスギ林が目立つことも確かです。そういう森林を間引きし、新たに植栽を施して気持ちの良い場所にする森林整備活動は、CO2 排出量の抑制の一助になるとともに、その土地を活かして人が訪れるようになるという意味で開発と同じ意義を持つと考えました。

また、次世代を担う子どもたちのために企業として私どもができることは、子どもたちに新たな発見やきっかけづくりにつながる機会を提供することだと思います。森林づくり活動を通じ、地域の子どもたちにも参加してもらえるような植林体験を実施するなど、森林保全の必要性や環境問題について興味を持ち限りある資源の大切さを学びながら、子どもたちの成長に少しでもつながる取り組みを進めていきたいと考えております。

株式会社秀拓
代表取締役　米原　恭淳

～ 株式会社秀拓 会社概要 ～

法　人　名　株式会社 秀拓
代表取締役　米原 恭淳



黒山展望台前の町有林を伐採したら、関東平野が一望できる夜景になりました☆彡

黒山展望台から見た東京方面の夜景

黒山展望台前を伐採した経緯

令和４年度から株式会社秀拓と埼玉県森林づくり協定の締結に向けた協議を行ってきました。

黒山展望台前の町有林は、木が大きくなり眺望が悪くなったうえに、伐採適齢期を迎えていたため、町としても企業に活用していただきたい意向がありました。

そのため、令和６年８月に町有林立木売払を実施し、立木を秩父広域森林組合が落札し、伐採から搬出・運搬までを実施していただきました。

黒山展望台ってどんなところ？

黒山展望台は、標高約 600 mで、顔振峠から傘杉峠を抜けた奥武蔵グリーンライン沿いにあり、車で行くこともでき、駐車場も約５台置けるスペースがあります。

眺望は、横浜方面から赤城方面までの関東平野を一望することができ、開放感あふれる絶景スポットとなりました。また、夜景は宝石がちりばめられたような絶景で、東京スカイツリー方面に朝日が昇る様子も見ることができます。

越生駅から車で約 30 分で行けますが、道中は林道となりますので、ご注意ください。

越生町大字黒山 1473-1 付近

約５台

なし

MAP

伐採前

伐採前は、見通しが良くありませんでした。

伐採後

伐採後には、目の前に筑波山が見えるようになりました。